

しょうせい 松政クラブだより



責任会派としての活動を

松政クラブ会長 三島 進

松江市、東出雲町の念願が叶い八月一日に合併し人口が20万人を超え、特例市となることが決定しました。融合一体化を進めていくために、東出雲町民の方々が同じ松江市民になったことを早期に実感できるように各分野の諸施策の中に松江市の施策を東出雲町に広げることと、両方の特色を活かした魅力あるまちづくりに努めていかねばなりません。

さて、五月の臨時議会に於いて松政クラブ役員が中心となり正副議長を選出し、各議員の所属委員会等議事会人事を終えました。昨年末、年始の豪雪による交通・通信のマヒ等、また三月十一日に発生した東日本大震災を受け6月定例会では松浦市長から施策方針の変更・追加があり、災害対策を柱とした安心、安全に暮らせるまちづくり施策が示されました。東日本大震災においては巨大地震と大津波により未曾有の大惨事となり、死者行方不明者を多数出すことになりました。被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧、復興を願うところですが、政府民主党においては決断・実行が遅れ早期の復興が期待できない状況です。

そのような中、松江市においても課題があります。島根原発は県都松江の二十キロ圏域に位置し、一号機の高経年化、避難道路、避難場所等々、国の方針を待ち、松江市、松政クラブが決断しなければなりません。また大橋川改修事業への対応にも地域の皆様のご意見を尊重し、より良いまちづくりを推進していかねばなりません。責任会派として今まで以上に、県・国へ対して積極的に活動して参ります。また議会改革にも取り組み、中核都市としてあるべき姿を作り上げて行く覚悟でございますので宜しくお願い申し上げます。



松政クラブ東京研修「我が国の財政状況、地方（島根・松江）財政について」

松政クラブ役員

- 相談役 出川修治 比良幸男 立脇通也 田中弘光
- 会長 三島進
- 副会長 山本勝太郎
- 幹事長(兼会計) 立脇通也
- 副幹事長(政策委員長) 森脇勇人
- 政策委員 松蔭嘉夫 南波巖 吉金隆 森脇幸好 三島進 山本勝太郎 立脇通也
- 副幹事長(広報委員長) 森脇幸好
- 広報委員 野津直嗣 貴谷麻以 野津照雄 川島光雅 石倉徳章 森脇勇人
- 監査 森脇敏信 野津照雄

所属議員議会構成

◎委員長 ○副委員長

- 議長 林 干城
- 副議長 三島良信 ■ 監査委員 加藤富章
- 総務委員会 ◎松蔭嘉夫 ○野津直嗣
- 三島進 田中弘光 三島良信
- 教育民生委員会 ◎南波巖 ○川島光雅
- 立脇通也 山本勝太郎 石倉徳章
- 経済委員会 ◎吉金隆 ○貴谷麻以
- 出川修治 加藤富章 森脇勇人 野々内誠
- 建設環境委員会 ◎森脇幸好 ○野津照雄
- 比良幸男 田中豊昭 石倉茂美 森脇敏信
- 議会運営委員会 ◎三島進 ○山本勝太郎
- 立脇通也 森脇勇人 森脇幸好
- 島根原子力発電対策特別委員会
- ◎比良幸男 ○田中弘光 石倉茂美 森脇勇人
- 南波巖 野津直嗣
- 宍道湖・中海問題等対策特別委員会
- ◎出川修治 ○森脇幸好 三島進 三島良信
- 野津照雄 貴谷麻以
- 総合交通対策特別委員会 ◎森脇敏信 ○吉金隆
- 林干城 田中豊昭 加藤富章
- まちづくり対策特別委員会
- ◎立脇通也 山本勝太郎 松蔭嘉夫 石倉徳章
- 川島光雅 野々内誠
- 議会広報等特別委員会 ◎森脇幸好 森脇勇人
- 石倉徳章 川島光雅

代表質問

会派代表質問を2人の議員がしました。

Q 教育問題について



立脇 通也

1. 松江市では小中一貫教育を教育行政の最重点項目として推進しており、学力日本一を目指す本市の取り組みの大きな柱でもある。現在、その成果と完成度について、どのように評価されているのか。また、評価に基づいて、今後どのように進めていくのか。また、来年度以降の推進体制の強化についてどのように考えているか。また、老朽化が進んでいる総合体育館の早期建設を願うものであるが具体的な計画を伺う。また運動公園内の陸上競技場や球場なども老朽化が進み、特に体の不自由な方々にとって来場を拒むかのような施設であるが、現在の競技場をサブとして第1種Aランク競技場の建設計画を早急に立てるべきと思うがいかがか。

1. (教育長) 取り組みがスタートしたばかりであり、モデル校区と他校区の違いはある。全体として不登校が減少し学力も向上している学校教育に関わる地域の方々が増加していることなども成果の一つである。また保育所、幼稚園等との連携強化も必要。小中一貫教育を今後も教育委員会全体で推進できる体制づくりを進めていきたいと考えている。

2. (市長) 今年度中に新しい体育館の建設基本構想計画を策定する。平成27年度中の出来るだけ早い時期の完成を目指している。また約1300人を長期間収容できる避難所としての役割と機能を持たせていきたい。今年度はメインスタンドの耐震診断を行い、その結果を踏まえて身障者用の設備整備も合わせて検討したい。スポーツ振興法ができ、この基本法の趣旨に則り、各施設整備に力を尽くしていきたい。

Q 観光振興について



比良 幸男

1. 観光客1000万人を目標としていたが、震災等の影響でどのような数値になるのか。また本年度で開府400年祭事業が終了するが、来年度以降1000万人の目標達成に向け、どのような施策を考えているのか。また、10月に斐川町が出雲市と合併し、宍道湖・中海圏域は5市で囲まれる。この圏域で共同のイベントなどを計画し、住みたい、住み続けたいという圏域にしなければならぬが、如何お考えか。また平成26年度に尾道松江線が全線開通の予定であり、中国地方全体で広域的に連携し周遊性を高める必要性があるが地域活性化策をどのように考えているのか。

1. (市長) 観光客1000万人を目指していたが、雪害、大震災等により目標達成は難しいと考えている。来年から県で古事記1300年祭が行なわれ、平成25年には出雲大社の大遷宮もあり、その観光客を松江市に積極的に誘導していく。また若い女性に人気のある縁結びスポットの活用や、まち歩き、ガイド養成など広い観光施策を展開していくと考えている。

2. (市長) 現在中海市長会において、お互いの祭を披露し合うなど交流に取り組んでいる。今後中海・宍道湖観光協会会議なども協力し合い観光客の誘致を図ってきたい。山陽方面への積極的な宣伝活動に努め、連携をして広域観光ルートの策定エージェンメントへのPRなど行なっていきたい。

一般質問

会派所属の議員の一般質問の要項です。

田中豊昭

- 1 原子力災害対策検討プロジェクト会議について
- 2 原子力防災について
- 3 原子力防災避難道路について
- 4 発電所の緊急対策について
- 5 3号機工程及び制御棒駆動装置について

野津照雄

- 1 公的施設、観光場所、公園等における喫煙場所と整備について
- 2 ホーランエンヤ記念館のイメージ・管理方法・開館時催事計画について
- 3 中海・宍道湖の水産業の現状と今後の見込み、対策、事業計画について
- 4 大橋川改修事業について

野津直嗣

- 1 定住対策について
- 2 国際交流と中心市街地の活性化について
- 3 空き家対策について
- 4 スポーツを活かしたまちづくりについて
- 5 旧町村の文化と若者の活力の融合について
- 6 子育て支援施策について
- 7 メディアラシーについて

貴谷麻以

- 1 特例市を視野に入れた宍道湖・中海流域の水質保全について
- 2 県内外の「水の輪の絆」づくり、流域連携促進について
- 3 市民活動支援と協働の今後について
- 4 職員人事評価に地域活動、市民活動を導入
- 5 日本女性会議について
- 6 産業振興について
- 7 (IT、農業、工業団地、商店街)

森脇幸好

- 1 東出雲町との合併について
- 2 太陽光発電導入促進事業について
- 3 松江歴史館の入館者の状況と課題について
- 4 AED(自動体外式除細動器)の設置について
- 5 地域防災無線整備事業について
- 6 行政情報住民告知システムの整備及び屋外スピーカー整備事業について
- 7 津波対策推進法について
- 8 玉造温泉駅舎及び周辺整備について

6月議会

JUNE

大震災後、初の議会。

防災や原発について質疑が集中しました。

代表質問

会派代表質問を2人の議員がしました。

Q 原子力発電所の事故について



三島 進

質問

1. 福島原発の事故によりEPZ(防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲)を半径30キロメートル程度まで広げられるのではないかと想定しているが、現時点でどのような認識と情報をもっているのか。また原発から放射線状の避難道路が必ずやと思うがどのように考えているのか何う。
2. 松江市の防災センターは原発から10キロメートル圏内にあり、事故が起これば避難を余儀なくされるが、どのように考えているのか。また県のオフサイトセンターについて協議の状況について何う。

回答

1. (市長) 県市長会、中海市長会において国に対しEPZの拡大の検討要請を行なった。原子力安全委員会では、EPZの範囲を示した原子力防災指針について改訂を行なうことを明言している。範囲の設定根拠を明確にするよう求め、避難道路については、気象条件等により変わるので、可能な限り多様化した避難場所・輸送手段・経路など避難計画の検討、策定を行い避難ルートの確保を図っていく。
2. (市長) 避難指示が出たから直ちに災害対策本部を移動することにはならない。市民の避難が完了するまでは放射性物質の飛散量、事故の状況把握・職員の累積被曝量も勘案しながら、災害対策本部を移動していくことを考えている。県も同様な事態になるので、国・県と連携をしながら行なっていく。

Q 安心・安全なまちづくりについて



森脇 勇人

質問

1. 東日本大震災の被災地において、自治会等の組織の力により一糸乱れぬ行動が取られ、それが報道され感動した。法吉公民館で災害訓練が行なわれているが、現在の市内の他の公民館で同じような行動が出来る状況にあるのか何う。
2. 雪害の際に、除雪や倒木処理に市民の皆さんにたくさんのご協力をいただき、また、たくさんの方の意見・要望もいただいた。松政クラブとして各自治会・町内会等で行なった除雪等災害時の対応をもっと柔軟にして自治会活動補助をすべきであると思うが、役割分担や自治会助成の考え方について何う。

回答

1. (市長) 法吉公民館の活動が評価され、昨年日経グローバルの防災行政における市民との連携度調査で松江が全国2位となった。この取り組みを他の公民館に波及させていく必要がある。そのためには核となるマンパワーを育成していくことが必要であり、一定の講習を行い人材育成を図っていくこととしている。
2. (市長) 自主防災組織への活動支援の拡充を考えており、防災資機材等の購入補助、防災組織の人材育成について支援をしていく考えである。除雪や倒木作業など災害時の対応についての役割分担は、自治会あるいは自主防災組織による共助をお願いしたい。

一般質問

会派所属の議員の一般質問の要項です。

■ 田中豊昭

- 1 原子力発電について

■ 吉金 隆

- 1 特別支援教育について
- 2 学習指導要領改訂について
- 3 食育について
- 4 児童・生徒の暴力行為について
- 5 松江市の公立学校の廃校と再利用について
- 6 公民教育について

■ 川島光雅

- 1 市長のマニフェストの検証について

■ 貴谷麻以

- 1 原子力災害対策の「避難計画」と弱者視点福祉計画の策定状況と地域における高齢者の施設整備計画は、待機児童解消計画と今後の見通し、また子ども園について
- 2 観光経済と古事記1300年における文化資源の活用とコンサルについて
- 3 日本女性会議について
- 4 (全市のおもてなしの見直しができないか)

■ 石倉徳章

- 1 東日本大震災と福島第一原子力発電所事故に関連して
- 2 住民生活に影響する施策と住民負担について(信頼性の観点から)

■ 野津直嗣

- 1 東日本大震災について
- 2 原子力エネルギーについて

■ 石倉茂美

- 1 軽油免税制度の廃止に伴う松江市の対応について
- 2 松江市における耕作放棄地対策の取り組みについて

各議員の一般質問に対する回答については松江市議会ホームページをご覧ください。



松江市議会

検索

松政クラブの市長要望

SHOSEI DEMAND

市民の意見を市政に反映させる。

CHECK POINT

市長要望

松政クラブでは、毎年様々な団体や市民の皆様からご意見を承り、会派のそれぞれの部会の中で調査研究し、市長へ要望をしております。※重点要望事項のみを記載させて頂きます。

財政

財政健全化法に基づく指標はクリアされているが、今後東日本大震災の復興財源の確保と「社会保障と税の一体改革」が進められる中で、さらに一層の財政健全化に努められたい。

原発

福島原発事故の終息の見通しが立たない中、島根原発においては重大な事故が絶対に起こらないよう、県と共に検査監視体制の一層の充実・強化を図り、情報周知を強化しながら住民への安心・安全対策に取り組まれたい。

防災

島根原子力発電所で万一事故が発生した場合、一刻も早い避難が必要である。鹿島から古江に至る古浦西長江線の早期完成、平成25年春に完成予定の松江だんだん道路を活かす大動脈となる境港出雲道路などの高規格道路の整備また国道431号、432号の改良、松江木次線をはじめとする生活・防災道路など原子力災害時における避難道路の整備は急務である。一刻も早い完成に向け努力されたい。

防災

大橋川改修事業など、市民が安心して暮らしていくためには、宍道湖岸や中海の湖岸堤防の整備、鹿島地区の佐陀川周辺の日本海の高潮による浸水被害等の対策について状況を推察され、整備工程の見直しも含め、早期に整備するように強く要望されたい。

防災

予測される地震による津波から市民生活を守るため、港湾、漁港、一般海岸の護岸において、一層の津波対策を講じると共に、国、県に対して海岸部及び河川部の護岸における津波対策の措置を早急に講ずるべく働きかけるよう強く要望されたい。

介護

特別養護老人ホームを始めとする施設等の整備は特別会計の運営健全化を前提に着実に進め、地域格差がないよう地域バランスに配慮し併せて在宅介護サービスにも取り組まれたい。またサービスの整備を推進する一方で、優秀な看護人材の確保と育成策を講じられたい。



全49事項を要望

12月2日市長室において松政クラブ5役により市民生活に関わる計49事項の要望書が手渡されました。

観光

ポスト400年の観光は停滞することなく県の「神話博しまね・古事記編纂1300年」との連携や継続発展させるべき堀川遊覧・まち歩き観光などを精査し、周辺の整備・企画の向上をはかり、誘客の増加に努められたい。

農業

継続的に食糧自給率を改善できる農政の確立を国・県へ強く要望されたい。

産業

産業支援センターを核に、市内の工業区域の連携と活性化を図るため長期展望にたったスペシャリストを育成されたい。

松政クラブの議会決議文提案

SHOSEI RESOLUTION

市民の想いを県や国に伝える。

CHECK POINT

議会決議文の提案

松政クラブでは、国や県に対して意見書を提出しております。9月議会においても4件の意見書案を、議会運営委員会に諮り議員提案案件として議会で決議し決議文として国県へ提出しました。(全決議文は松江市政会ホームページをご覧ください)

電力の安定供給に関する意見書

東日本大震災による福島第一原子力発電所や、周辺原子力発電所の稼働停止が行われましたが、国の安全基準が明確に示されていないため現在も多くの発電所で停止の状態が続いています。電力の供給力不足は、日本のものづくり産業に影響を及ぼし、円高も重なり企業の国外への移転が加速し、国民生活や日本経済に大きな影響を及ぼしつつあるにもかかわらず、政府は節電を呼びかけるだけで節電のインセンティブが働かないような施策さえも打ち出せていません。よって電力の安定した供給対策に向け、下記項目について国に速やかに実現を図るよう政府に強く要望しました。

- 1、原子力発電所について明確な安全基準を示し、防災対策を講じること。
- 2、国民に対して節電のメッセージが実感できる施策を早急に実施すること。
- 3、将来的な新エネルギー戦略を見据えた施策を速やかに打ち出すこと。
- 4、電力需給に対する法制度の見直しや運用改善について早急に検討し、必要な事項を実施すること。

高潮対策に関する意見書

大橋川治水計画が進み悲願であった上追子地区の築堤工事の準備工事も始まりました。しかし市民が安心して暮らしていくためには、宍道湖や中海の湖岸堤防も併せて整備する必要があります。富士見町地内の馬場港周辺の浸水による操業中断や設備損害、また、鹿島町佐陀川周辺の日本海の高潮による浸水被害がたびたびおきています。よって、宍道湖や中海の湖岸堤防の整備、日本海の高潮等の対策について整備工程の見直しも含め、早期に整備するように望みます。

松江市における避難道路の指定と早期完成を求める意見書

島根原子力発電所で万一事故が発生した場合、一刻も早い避難が必要ですが、古浦西長江線の早期完成、境港出雲道路などの高規格道路の早期整備、国道431、432号線の改良をはじめ松江木次線、松江鹿島保閑線など放射道路、環状道路などの避難道路について島根原子力発電施設等立地地域の復興に関する計画に盛り込み、国が選定すべく働きかけるよう、県に要望するものです。

津波対策を早急に求める意見書

島根県においては、津波に対する対策は十分なされていません。津波が大橋川や宍道湖に流れ込むことも想定されており、早期のシミュレーションも必要です。島根県においては港湾、漁港、一般海岸の護岸、河川部など一層の津波対策を講じると共に国に対しても津波対策を早急に講ずるよう働きかけたい。